



▲あやせ地域マスターになろう

12月5日、綾西小学校6年生29人が総合学習で「あやせ緑普及会」の授業を受けました。テーマは「あやせ地域マスターになろう」。緑を育てれば豊かな都市を創造できることや、8㎡の緑のカーテンを作れば、夏のエアコン1台分を止められるほどの省エネになることなどを学びました。児童からは、緑普及で一番苦労したことや、自分たちができることなど、活発な質問も出ました。

【近藤 秀敏】



▲子ども生け花体験教室開催

11月30日と12月27日、心和む日本の伝統文化、生け花に興味を持ってもらおうと、市民文化祭華道部門で「子ども生け花体験」に参加した小学生以下の児童を対象に、市華道協会によるこども生け花体験教室が開催されました。2回のレッスンには、合計15人の子どもたちが参加し、初回は「クリスマスの花」を2回目には「お正月の花」を生けました。

【福島 順一】



▲小園自治会文化祭

12月7・8日、小園自治会館で第2回小園自治会文化祭が開催されました。絵画、書道、絵手紙など95点が展示され、一人一人の心の込められた力作が、見る人の心を和ませてくれました。別室では、裏千家の遠峰宋美先生による茶道のおもてなしを受けることもでき、芸術文化に触れたひとときでした。

【高橋 元】



▲楽しくしめ縄作り

12月8日、綾西高齢者憩いの家でしめ縄作りが行われました。毎年恒例となっているもので、日本の良き伝統を継承していこうという意味も込められています。経験者に教えていただきながら、みんなで楽しく作りました。しめ縄は厳かな気持ちになるし、わらを生かす技術もいいですね。

【段木 武】



▲真に豊かで魅力と活力あふれる地域社会にむかって

12月14日、中央公民館で25年度市民活動センターあやせ利用団体交流会が開催され、25団体80人が参加しました。基調講演の後、歓談を交え合いを紹介し合う名刺交換ゲームや団体のPRタイムでは、多くの団体からPRがされました。綾瀬マンドリンクラブの演奏もあり、活気あふれる交流会でした。

【福島 順一】



▲綾西にクリスマスの歌声響く

12月20日、綾西自治会館であやせ女性合唱団「グリーンハーモニー」によるクリスマスコンサートが開かれました。会場には地域の皆さんが大勢来場し、リトルジャズミサやクリスマスソングメドレーを聴きながらクリスマスの雰囲気になりました。最後は全員で「花は咲く」を合唱し、和気あいのうちに終演、隣近所のつながりを感じました。

【近藤 秀敏】



自治会加入促進に関する協定を締結

12月19日、市と市自治会長連絡協議会、県宅地建物取引業協会県央東支部の3者が自治会の加入促進に関する協定を締結しました。

災害時の地域住民による助け合いなど、自治会活動の重要性が改めて認識されているものの、若い世代や単身者などの転入世帯に加入しない傾向が見られることから、3者が連携しながらそれぞれの立場で加入の働きかけを行うものです。

図市民協働課 ☎70・5640。



署名記事は広報まちかど特派員から



▲避難所運営の難しさを実感しました

12月14日、北の台地区センターで市主催で避難所運営研修会が開催されました。綾瀬災害ボランティアネットワークの皆さんの指導で「避難所運営ゲーム」を通して避難所受け入れ態勢のあり方を考える内容です。参加した大上と蓼川の自治会役員や地域住民は、3時間の長い研修にも関わらず、懸命に自らの考えを提起していました。

【吉江 旭】



▲蓼川子ども会のどんど焼き

1月13日、蓼川神社境内で恒例のどんど焼きが行われ、子ども会の児童や地域の皆さんが大勢参加しました。神社総代の挨拶の後、火が付けられ無病息災、家内安全を祈願し親睦をかねて楽しみました。

【大滝 隆司】



▲手打ちうどん作り

12月20日、蓼川自治会館で開催された蓼川地区社会福祉協議会のミニサロンで手打ちうどん作りが行われました。同協議会の木村理事の指導を受けながら、参加者は真剣にうどんをこね上げました。調理後はかき揚げと一緒においしく食べました。

【大滝 隆司】